

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木孝幸
幹事 須藤正樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度国際ロータリーテーマ

第1714回例会

令和4年6月9日(18:30～19:30)

○ソング

- 四つのテスト

○スマイルBOX

- 鈴木孝幸会長（小委員会の皆様、今年一年ありがとうございました。大住委員長よりスマイルボックスの途中経過が報告されました。あと数万円で目標達成です。次年度の為に皆様ご協力宜しくお願い致します。）
- 須藤正樹幹事（一年回顧が始まったということは、あと少しということです。残り頑張ります。）
- 山田顕一郎会員（大変遅れましたが先日の誕生日祝いありがとうございました。鶴丸親睦委員長には雨の中自宅まで届けていただき本当に恐縮です。ヨーグルト家族で美味しくいただきました。）
- 安部和夫会員（誕生日の美味しいスイーツありがとうございました。）
- 吉野敬之会員（先月の事ではございますが結婚記念日のお祝い有難うございました。又新規事業の立ち上げに伴い例会の出席が減ってしまい大変申し訳ございませんでした。）
- 永野文雄会員（一年回顧発表の委員長さん、発表ご苦労様です。一年間ありがとうございました。）
- 金田昇会員（各小委員長様、回顧報告お疲れ様でした。次年度に続いていきますように。）
- 大住由香里会員（鈴木・須藤年度の例会も残りわずかとなりました。後3回のスマイルのご協力よろしくお願い致します。）

▶第1714回例会出席状況 (R4年6月9日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	65名
Ⓒ ①の出席者数	28名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	2名
Ⓕ ②の出席者数	11名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	41名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	62
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	66.1%

▶例会日: 第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

鈴木孝幸会長



皆さん、こんばんは。本日もお忙しい中、例会にご参加いただきまして大変ありがとうございます。本日の例会は、とうとう一年回顧の例会となりまして、今日は小委員会の回顧であります。来週が五大部門の回顧。再来週が会長幹事の回顧ということになりまして、3週間回顧の例会になっています。委員会によってはこのコロナ禍の中、活動できたというか非常に忙しくなっちゃったとか。例えば、IT委員会なんかみたいな毎週皆さんが集まる30分以上前に会場に入って準備をしてくれて、今回は昨年よりまた更にバージョンアップして、100パーセントズームでもできるような体制を整え、そういった準備を着々と本当に毎週忙しくやった委員会もありますし、このコロナ禍の社会の行動制限の中で、なかなか計画した活動ができなかった委員会。例えば、齋藤孝弘委員長の職業奉仕委員会は、国会のほうに行って皆で国会見学がしたいなんて話がありました。そうだったこともとうとうできなかったというところの委員会もあります。本当に活動ができなくて歯がゆい思いをした委員会も他にもあると思いますが、こういったコロナ禍の社会ですので、それは本当に致し方ないことだなと思っています。そういった委員会の委員長さんにつきましては、コロナ禍でなければこういった活動ができたのにとか、こういった活動がしたかったみたいな話が今日は聞けるといいななんて思っています。精一杯活動できなかった言い訳を言っていたと思います。そういった話も、次年度の活動の糧になりますし良い事だと思っています。また、忙しかった委員長さん、委員の方々につきましては、この回顧を利用して私に愚痴を言ってもらっても結構でありますし、私はそれを甘んじて受けようと思っておりますので、すっきり吐き出していただきたいと思っています。ですけども、この一年を総じて私は会員の皆様にはコロナ禍で微妙な判断を強いられる、こういった状況の中でしっかり委員会活動をしていただけたなあって、私は感じております。昨年の吉野会長の年度末は、中村文昭さんの講演と清掃事業が、6月の20日頃で、本当にバタバタの年度末という形でありました。今年度はそんな感じではないんですけども、前回最終的に流れてしまっていたホームミーティングも開催もできましたし、一番やっぱり特出するのはIMですね。フルスペックで開催できたということは、本当に喜ばしいことだなと思っています。今日は私の回顧ではないので、これ以上喋らないようにしたいと思うんですけども、今日回顧する皆

さんには沢山お話を聞かせていただきたいと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。話はちょっと変わりますが、昨日ネットで白河西ロータリーのクラブセントラルというところを開きまして、ここ近年の会長経験者じゃないとわからないと思うんですけども、皆様も登録しましたマイロータリーにログインして入っていきますと、クラブセントラルというこのクラブのスペックを、この西ロータリークラブのスペックを入力したり、一年間の活動計画を入力したりする画面がございます。昨日、そのクラブセントラルに今年度活動の出来高を入力してみました。6月末、今年度末までにクラブセントラルを更新しなければいけないということで、取り急ぎ入力したわけでございますけども。まず、クラブセントラルで年度の初めに、これから高島次年度会長もやっているのか、これからなのか年度初めにクラブの活動目標を設定いたします。どんなものがあるかというのを皆様にもご紹介いたしますけども、年次基金への寄付とか会員の増強と参加促進で会員増強の人数、奉仕プロジェクトの数とか、RYLAの参加者が何名いたかとか、クラブ戦略の計画はどうだとか、インターネット上の存在感はどうだ、親睦のための活動はどういったことをするか。ウェブサイトとソーシャルメディアの更新とか、クラブのプロジェクトメディアの掲載とか、まあ新聞に載ったとかそういうことですね。まあ、いろいろあります。あとは、計画したプロジェクト、完成したプロジェクトなんていうのも入力する欄がございます。他にも沢山の目標項目があつて、それを年度末と途中で私もやり方がわからないので、途中で設定したものもあります。今回は、16のクラブ目標を私は設定しました。それを入力して行って、今回は会員増強の人数から奉仕活動の人数とか全部入れていったところ、その16の目標値のうち多分、14項目を達成できたかなと思っています。ちょっと細かい判断基準は未定のところもあるんですけども、結構いい感じで達成できているかと思っています。実は13項目以上この目標値を達成すると、昨年吉野年度が受賞しましたロータリー賞の可能性が出てくるらしいです。今年度、特に金田ガバナー補佐の所属クラブとして、できればロータリー賞を昨年に引き続き狙えればいいかなと思っています。また、これちょっと入力の仕方もコツがあるので、まだ入力が終わってなければ高島次年度会長、お手伝いをしますので是非相談してください。今年駄目でも来年はロータリー賞が取れるよう頑張っていたきたいと思います。クラブセントラルというものの紹介をいたしまして、今日の会長の時間はこれで終わりたいと思います。今日はよろしくお願ひします。

■幹事報告

須藤正樹幹事

- 国際ロータリー第2530地区 投票委員会委員長 鈴木邦典：クラブ投票結果について
- ガバナーエレクト事務所 事務局 佐藤直子：メルボルン国際大会について
- ガバナーエレクト事務所 事務局 佐藤直子：第1回諮問委員会並びに前期地区委員会総会懇親会についてのお願い
- 白河市長 鈴木和夫：街頭献血キャンペーンへの協力と記念品等の協賛について（依頼）
- 第2530地区ガバナー 芳賀利彦：2021-22年度地区研修・協議会記録
- 第2530地区ガバナー 芳賀利彦：2021-22年度地区大会記念誌

■本日のプログラム

一年回顧 小委員会

○プログラム委員会

中目公英委員長



鈴木孝幸会長が掲げた「新たな奉仕に踏

み出そう ロータリーの次の百年のため

に」というテーマの実現を目指して、我が

クラブの重点目標に設定されている例会出

席率を向上させようということに関し、例

会のプログラムが楽しい例会にすることによって、メンバーの皆さんの積極的な出席を向上していただくように、今年一年間務めてまいりました。今年度はコロナ禍の中であっても、リアルとオンラインを併用したハイブリット例会と、完全オンライン例会と。これらをその時々々の状況を勘案しながら、極力例会は休会しないというこの方針のもと、年間で45回の例会が実施されました。普通、プログラム委員長は一年間のプログラムをまっさらの状態から計画をしますのですけれども、今年度は鈴木孝幸会長が私に大体8割自分で決めて、あと残り2割中目さん決めてくださいというふうな形で、私はほとんど残りの2割の部分にしかプログラム構成タッチしていませんでした。その2割の部分は、今年の特徴である金田昇ガバナー補佐担当例会という、こういうふうな例会を今年度初めて実施をいたしました。その他、昨年35周年で新たに入会をさせていただいた方々の新入会員の卓話を増やしてみたり、あるいは女性の方々の卓話を増やしてみたりというふうなことに焦点を当てながら例会内容を決めてまいりました。急な例会の変更、プログラムの変更もありましたが、会長、幹事よりの適切な指示をいただきまして、また西ロータリーの会員の皆様方のご協力を賜り、大過なく今年一年間のプログラムをやり遂げられたとっております。会員の皆様方の一年間のご協力に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

○出席委員会

山田顕一郎委員長



皆さん、こんばんは。出席委員会は、瀬谷副委員長、鶴丸会員、石部会員の4人で担当月を分けてやらせていただいたんですけども、委員の皆様、しっかり担当の月はやっ

やっていたいて、正直言うと私忘れた時などあったんですが、その時もしっかりサポートしていただきまして感謝しております。また、事務局の吉田さんには早めの案内を出すということで、私が送った案内を適宜しっかりとメールとファックスで会員の皆様にお伝えいただいて、本当にありがとうございました。2月3月、完全リモート例会がありまして、その出席の確認の方法としては本当に一緒にリモート繋いで一覧が出るんですが、そのお名前出た方をすべてチェックして、後日もう一度ファックス、メールで皆様に確認を取ったんですけども、やはりどうしてもこの繋いだタイミングで見逃してしまった方とか、あと出席されていないのに、私のほうで出席と見てそのような状況で再度の確認が行って、その度に該当してしまった会員の方には事務局のほうに今回は出席してませんでしたとか、出席したんですが出席にカウントされていないというようなことを、わざわざ事務局のほうに皆さんお伝えいただくような形になりまして、その辺のご協力も感謝しております。最後に半期で今年は上半期下半期ということで、出席率の高い方の表彰がありまして、あと6月を残すのみの例会となっております。また終わって閉めて次年度になったら表彰を行いたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。一年間、ありがとうございました。

○親睦委員会

鶴丸彰紀委員長



皆さん、こんばんは。親睦委員会、鶴丸

です。今年度の親睦委員会は、副委員長に

藤田和克会員、運天直人会員、瀬谷隆志会

員、井上敬裕会員、吉成真五郎会員、増子

国安会員、永山龍太郎会員、水上泰真人会

員、石川格子会員、白岩修一会員、沼田重一会員と、新入

会員も含めますので、総勢12名で動かさせていただきました。

本年度も、コロナの影響でできるできないはございましたが、鈴木会長のできる限りイベントを実施したいという強いご意向もあり、それに後押しをいただいて会員皆様のご協力ご理解をいただいたことで、昨年度より悲観して

おりました状況よりは多くのイベントを実施することができたと感じております。ご家族にご参加いただけるバーベキューから始まりました納涼例会も、また「那須サンパレー」を利用しましたクリスマス例会もご家族共々楽しく実施をすることが叶いました。また、実施ができなかった会もあります。矢吹ロータリーと行った観桜会等の白河

持ち回りの会でも、延び延びになっていた白河主幹の会を行うことができた。また、最後にホームミーティングができたことも、会長の鶴の一声でやらせていただいたということでありがたく思います。今年のお誕生日のお祝いとしては、「モーニング」のヨーグルトで、結婚式のお祝いにはあらかじめ奥さまやご家族と楽しく選んでいただけるようにと思ひまして、写真付きのアンケート用紙を該当の会員様にお配りさせていただいて選んでいただける5種類の選べるプレゼントという企画をやらせていただきました。少し風変わりな企画を混ぜさせていただいたのですが、皆様のご理解をいただけたことで楽しく実施をすることができました。ありがとうございます。結びになりますが、一番嬉しかったのは委員会全員が協力していただけた面です。藤田和克副委員長を筆頭に、皆さんお忙しい中で当日なかなかイベントに來れないメンバーも数多くいたんですが、それを事前の打ち合わせですとか、買い出し、あと準備のご協力に積極的に出席していただきました。この場をお借りしまして、委員会メンバーの皆様にもお礼を言いたいと思います。最後に、6月30日、会長幹事慰労会が残っております。是非、これが親睦委員会最後のイベントになりますが、皆様ご協力の上一人でも多くご出席をいただけるようご参加をお願いいたしまして、わたくしの一年回顧とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○シスター委員会

堀田一彦委員長



皆さん、こんばんは。シスター委員会の一年回顧です。本年度は、コロナ禍ではありましたが、姉妹クラブとの活発な交流ができたと思っております。昨年11月3日には、コザさんのほうで創立60周年記念式典が行われまして、そこに9名で参加しましてコザさんの熱烈な歓迎を受けて友情がとてもおおいに深まったというふうに思っております。また11月29日、この日には深谷ノースさんのほうから、洪沢栄一翁を巡る研修旅行と例会のご案内をいただきまして、6名で参加してきました。これもまた、有意義な交流となりました。更には4月9日、西クラブ主幹のインターシティミーティングでは、コザさんから9名、深谷さんから5名の参加をいただきまして、更には6月1日2日にもコザさんから4名の参加をいただいた交流コンペのほうも開催できました。コザさん、深谷さんが来ると、夜の懇親会が非常に長いんですが居川先生を筆頭に多くの方々にご協力をいただきまして、とても深い交流ができたというふうに思っています。残念ながら、米沢中央さんとは交流ができませんでしたが、次年度はまた本来の交流を行えるということですので、次年度に期待したいと思っております。最後になりますが、姉妹クラブとの交流

事業に参加されたすべての皆様に感謝したいと思っております。ありがとうございました。

○会員増強委員会

兼子聡委員長



皆さん、こんばんは。会員増強委員会の回顧をさせていただきます。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策があり、対面で人に会うのが社会的にも社会的にもはばかれる年となり、なかなか訪問会員増強活動ができませんでした。新型コロナウイルス感染症が早く終息することを祈念いたします。というのが本に書いていただくところで、本当に会長には大変力不足で申し訳ございませんでした。わたくし事でありませうけれども、本当に1月から子供たちが学校閉鎖や学年閉鎖、そして学級閉鎖。そこに付随する兄弟も学校を休みということで、本当に社会的にも週に一人休むような状況であり、また孫を預けている親がなったらばその従業員も休みとかということで、本当にこの4月くらいまでなかなか活動できませんでした。ただ、お陰様で会社のほうも個人的にも陽性者が出ませんでしたし、先日3年間娘と息子がインターハイと中体連を目指して活動してたんですけどもそれも無事終わりました。今後は自由に歩けるのかなと思っておりますので、来年もまたいろいろと頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

○ロータリー情報委員会

鳴島三夫委員長



皆さん、こんばんは。ロータリー情報委員会の報告をさせていただきます。委員長に私、鳴島で、副委員長に中目会員、委員に吉野会員という3名で、一年間行わさせていただきました。今年度は、ロータリー情報委員会は会員の皆様にロータリーの知識と情報を広く伝え理解を深めていただけるよう努力すると計画を立てました。今年度は、県南分区インターシティミーティングが金田昇ガバナー補佐と白河西ロータリークラブの主幹で行われましたので、IMの当日午前中に新会員セミナーを開催いたしました。講師には芳賀裕ガバナーエレクトをお迎えしまして、テーマは「ロータリーの扉を開く」ということで、県南分区の新会員の皆様や西クラブの会員の皆様に多く参加していただき、ロータリーの情報を研修していただきました。委員の皆様、また西ロータリークラブの会員の皆様のご協力がありまして無事開催することができました。以上、ロータリー情報委員会の報告といたします。ありがとうございました。

○クラブ会報委員会

運天直人委員長



皆さん、こんにちは。クラブ会報委員会の委員長を仰せつかっておりました運天と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。本年度、クラブ会報委員会は副委員長に永野パスト会長、メンバーのほうに渡部勝也会員、あと三瓶徹会員ということで、4名で進めさせていただきました。期の中、三瓶会員のご不幸があるということで、3人になってはしまったんですが、実は昨年、クラブ会報委員会の委員長が三瓶会員で、今年は昨年その体の状況で活動できなかったものですから、今年メンバーに名前を加えていただいて、名簿だけでも一緒に活動できたかなと思っております。そういう意味では、最後にその同じメンバーを共に委員会を共にできたことを誇りに思っております。活動に関しましては、本当に渡部勝也会員のほうが全てやっていただいて、私は勝也さんが書き下ろしたものをチェックする。また、ロータリー用語とかそういった難しいのはすべて永野さんがチェックするというので、私は何もしないで申し訳ないということでした。今まで大変申し訳ないんですが、週報毎週いただくんですけど、隅々まで目を通すということをやっておりませんでした。今回、この役をいただきまして週報を見るということを一年間させていただいたことも、私にとっては成果でなかったかと思わせていただきます。また、来年もいろいろなお役ありますけども、その一つ一つをまた学びとして頑張っていきたいと思っております。一年間、本当にありがとうございました。

○IT委員会

阿部克弘委員長



皆さん、こんばんは。今年度、IT委員会の委員長の阿部克弘です。今年度のIT委員会は、副委員長に鈴木典雄会員、委員に諸橋和典会員、同じく十文字光伸会員、同じく井上敬裕会員、そして小山智会員の5名で活動してまいりました。諸橋会員の指導のもと、機器のバージョンアップを図ったことで、安定したズーム配信やパワーポイント等を使用したビジュアル的な卓話を提供することができました。また、地区運営方針の会合のオンライン化、並びに登録システムの効率化や、クラブの重点活動目標の「ハイブリット例会を充実しよう」に関して前述したように、我がクラブは毎回ハイブリット例会の配信、インターシティミーティングのズーム配信、マイロータリーの100パーセント登録など、IT先進クラブとして面目を保てたのは、鈴木副委員長をはじめとする会員、特に諸橋会員、十文字会員、そして井上会員たちが忙しいにも関わらず早くから例会場に集まり、機材のセッティング

や新人会員のメールアドレスの登録などを積極的に行ってもらえたことが一番の要因だと思っております。小山会員に関しては、全然出席はなかったんですが、皆様に美味しい食事の面で貢献しておりましたので、違う形の貢献ですがIT委員会はメンバー全員で頑張ったことをご報告いたします。最後に、鈴木副委員長、諸橋会員、十文字会員、井上会員、そして小山会員には大変お世話になり感謝しております。また、鈴木孝幸会長と須藤正樹幹事、並びにメンバーの皆様にも協力をいただき一年間お世話になりました。ありがとうございます。

○ロータリー財団委員会

矢田部錦四郎委員長



皆さん、こんばんは。今年度、財団委員長を仰せつかりました矢田部錦四郎でございます。計画の中では一番長い文章を書いたなという部分と、渡部さんにもカットになるかと思ったら全部載せていただきました。そのおかげでまた今年、次年度は中目パスト会長にバトンを渡しましたら、更に長い文章とロータリーの計画、ロータリー財団についての説明が詳しくバージョンアップしております。是非、私の後継者ではないんですが、この財団もだんだん使いやすく、また理解しやすくなってきましたので、是非皆さんも寄付の意味をわかった上で、是非ロータリー財団に支援していただければと思います。私はこちらの財団委員長と2530地区のロータリー財団委員会の資金推進とポリオ委員会のほうに出向してました。やることは、補助金セミナーについての準備とか、財団の勉強会をリアルでは2回。あとズームで3回くらい、県のほうの財団委員会に参加してまいりました。そして、当地区の財団月間に関しては皆さんもご承知ですが、11月4日に県の財団副委員長の林克重様にわかりやすく県のほうの財団の寄付の意味や財団の役割、あと地区の委員になって気づいた事などをお話していただきました。私もこの財団、県のほうの財団にはかなり長く所属していて、震災の時にすごい各県から何億もの支援をいただいた事例も見てるし、やはりロータリーって何かあった時にいろんな意味でみんな助けてくれるという素晴らしい組織であるということを理解しています。自分が資金に余裕があるとかないとかはあるでしょうが、やはり皆さんもその寄付の意味を理解して少し社会貢献する意味で、財団次年度の中目財団委員長を支援していただいて、しっかりとバトンを渡していきたいと思っております。中目さん、よろしくお願ひします。

○米山記念奨学会委員会

池田浩章委員長



皆さん、おばんでございます。米山記念奨学会委員会を担当いたしました池田です。米山記念奨学会委員会は、副委員長に渡部則也会員、委員に湊洋子会員、同じく藤田龍文会員の4人で委員会を行いました。10月7日に、担当例会を開催する予定でございました。白河ロータリークラブ所属の鈴木邦典パストガバナー様をお呼びしましての、米山記念奨学会の寄付について詳しく卓話をいただくところでしたが、残念ながら新型コロナのため定例会そのものが中止となってしまいましたので、実行することができませんでした。その辺が大変悔しく思っております。また、本年度の特別寄付、目標は2名でございましたけども、鈴木孝幸会長、そして金田昇ガバナー補佐、そしてわたくしも協力をさせていただきまして目標を達成する事ができました。関係されて方々、本当にありがとうございます。また、全会員によりますところの一人当たり五千円の寄付、普通寄付ですね。こちらのほうも、目標を達成することができました。関係した皆様には感謝申し上げ、一年の回顧とさせていただきます。

○スマイルボックス委員会

大住由香里委員長



皆さん、こんばんは。スマイルボックス委員会委員長を仰せつかっておりました大住由香里です。今年度は、根本あゆみ会員、石部辰雄会員、藤田和克会員とわたくしの4人で活動してきました。去年に引き続き、休会になったり、ハイブリット例会であったりでしたが、快くスマイルしていただけたこと、そして完全ズーム例会になった時も条件的には厳しかったのですが、ダメもとでファックスやメールで募りますと、多くの皆様からスマイルしていただけたことで何とか終わることができました。その結果、現在までのスマイルは目標達成まであと一歩となりました。127万弱です。本日も含め、残り4回の例会がございます。皆様の更なるご協力をお願い申し上げ、一年の回顧といたします。ご協力をいただきました委員会のメンバー、そして会員の皆様、ありがとうございます。

○S A A

山口治委員長



本来ですと来週、一年回顧をやる予定でしたが、時間のほうがまだあるということで、時間調整するのもS A Aの仕事ですので、今日回顧をさせていただきます。本年度、S A A会場監督は、S A A山口、副S A Aに安部和夫会員、佐藤清作会員、緑川直人会員、車田裕介会員、佐川京子会員の6名で担当月を決めて

一年間運営をしてまいりました。今年度、S A Aとして5つの方針を掲げて進めてきたんですけれども、1つ目の会長、幹事、そしてプログラム委員会との連携を取り円滑な運営を進めてまいりますということに関しましては、会長、幹事についてはうまく連携が取れてたのかなと思います。プログラム委員会とはコロナの影響もありまして、次週のプログラムがどうなるかもわからないという、ちょっと流動的なことがあったりして、なかなか難しい部分があったという反省点があります。2の例会の雰囲気づくりに関しましては、S A Aが初めてのメンバーが多かったので、S A Aの進め方で。その指導のほうに重しが置かれて、十分にそちらのほうはできなかったかなというところがありました。3の食事に関しましては、月に一度のスペシャルメニューの日を作りました。コロナ禍でなかなか旅行にも行けないということもありまして、これ会長の方針、考え方もありまして、旅をテーマに各地の郷土料理を取り入れたスペシャルメニューを月一度行いまして、出席率向上に寄与できたかどうかはわかりませんが、ちょっとプチリッチな食事を楽しんでもらえたのかなと思っております。4つ目の、ゲスト、ビジター会員のエスコートについては、S A Aのメンバーが今日の例会は2人というような日もあったので、完璧とはなかなか言えませんでしたけれども、スムーズに席につけるような配慮はできたかなと思っております。5つ目の担当を決めては、ほぼ予定どおり委員が責任をもって務めてもらえたと思います。また、今年度は当クラブより金田ガバナー補佐が出たということもありまして、IMのホストクラブとなりS A Aが式典監督を務めました。事前にIMの実行委員会、打ち合わせが何度か行われたんですけども、正直第1回目、第2回目ぐらいは、自分がこのIMの式典監督として何をやるかというのを、正直よくわからなかったという最初のほうがありました。その中で、不思議なことに3回目、4回目と打ち合わせをしてるうちに、自分が何を求められているのかなというのが見えてくるんですね。打ち合わせをする意味というかな、そういうのを痛感いたしました。矢田部パスト会長は、よく役職は人を育てるというふうに言いますが、今回IMの式典監督を務めさせてもらって、良い経験をさせてもらったなと思っております。最後になりますけども、個人的には毎週木曜日が週の中で一番うちの山口屋製あん所の製造量が多い日なものですから、夜の例会は問題ないんですけども、昼の例会に早めに来るとことはなかなか正直大変でした。その辺は家族にも助けられて、一年間S A A委員長を何とか務めることができました。会長、幹事、お疲れ様でした。そして、S A A委員長、山口さん、お疲れさまでしたということで、一年の回顧とさせていただきます。ありがとうございます。